

仙台市地球温暖化対策推進計画 中間評価について

環 境 局

地球温暖化対策推進計画の概要

- ・ 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、本市の地球温暖化対策の推進に関する目標や施策を定めるもの
- ・ 「杜の都環境プラン」に掲げる環境都市像のひとつである「脱炭素都市づくり」の実現を図るための個別計画として位置づけ
- ・ 計画期間：令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）（10年間）
⇒ 中間年度である令和7年度（2025年度）に計画の中間評価を行うことと
している
- ・ なお、中間評価に先立ち、令和5年度末（2023年度末）に計画を見直し、令和12年度（2030年度）温室効果ガス削減目標を「35%以上削減」から「55%以上削減」へと引き上げを行うとともに、施策の拡充を行っている

中間評価を行う項目

- ・計画には、以下の目標が定められており、これらの目標について最新値との比較により、目標の進捗状況を評価した。

- ① 「温室効果ガス削減目標（中期目標）」
- ② 「再生可能エネルギー導入目標」
- ③ 地球温暖化対策の推進に関する法律に定める施策の実施目標

- ・また、温室効果ガス削減目標の進捗状況を確認するための「管理指標」及び「施策の進捗状況管理項目」についても、計画期間中の進捗を確認した。

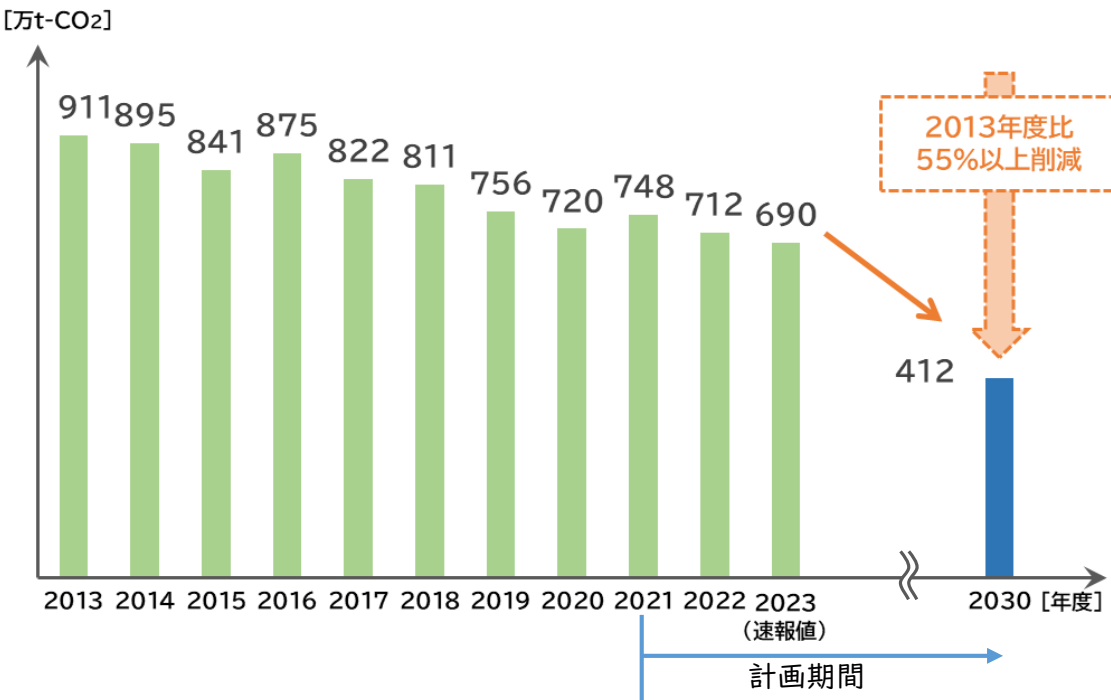
目標の進捗状況（①温室効果ガス削減目標）

【目標】

令和12年度（2030年度）における温室効果ガス排出量を平成25年度（2013年度）比で55%以上削減（森林等による吸収量を含む）

【進捗状況】

令和5年度（2023 年度）の排出量（速報値）は 690 万 t-CO₂となり、基準年度である平成 25 年度（2013 年度）と比較して 24.2% 減少した



主な部門の進捗状況（万t-CO₂）

部門	平成25年度比削減量（削減率）	
	進捗状況 （令和5年度）	削減目標 （令和12年度）
産業	▲60(▲37.7%)	▲103(▲64%)
業務	▲91(▲40.9%)	▲170(▲76%)
運輸	▲21(▲10.1%)	▲71(▲35%)
家庭	▲55(▲27.9%)	▲129(▲66%)
合計	▲221(▲24.2%)	▲499(▲55%)

目標の進捗状況（②再生可能エネルギー導入目標）

【目標】

令和12年度（2030年度）までに805MW（令和4年度実績の約2倍）を目指す

【進捗状況】

令和5年度（2023年度）における導入量は495MWであり、太陽光発電が増加したほか、大型の木質バイオマス発電施設が1件稼働したことでバイオマス発電の導入量が大きく増加している

[MW]

再生可能エネルギーの種類	基準値 (令和4年度)	直近値 (令和5年度)	目標 (令和12年度)
太陽光発電	365	373	569
バイオマス発電	35	110	223
風力・水力発電	12	12	13
合計	412	495	805

※令和5年度（2023年度）の計画改定時に新たに目標を設定

目標の進捗状況（③地球温暖化対策の推進に関する法律に定める施策の実施目標）

【目標と進捗状況】

温室効果ガス削減アクションプログラムによる削減量は、事業者の取り組みの促進や参加者数の拡大により、概ね順調に進捗している

		直近値 (令和5年度)	目標 (令和12年度)
事業者・住民の削減活動の促進	温室効果ガス削減アクションプログラム参加事業者の温室効果ガス排出削減量	18.8万t-CO ₂	44万t-CO ₂ 以上
	日常生活における市民の環境配慮行動 (25項目) ※環境に関する市民意識調査結果	25項目中 13項目で向上 (令和6年度)	全ての項目における 実践割合を現在（平成30 年度）よりも向上
地域環境の整備及び改善	みどりの総量	78.7% (令和6年度)	現在（令和元年度）78.4% の水準を維持・向上
	都市計画区域内の都市公園等の市民一人 当たり面積	18.9m ²	20m ² 以上
循環型社会の形成	家庭ごみに占める資源物の割合	45.5% (令和6年度<速報値>)	30%以下

※令和5年度（2023年度）の計画改定時に新たに目標を設定

中間評価結果（まとめ）

- 家庭や事業活動からの排出削減に向け、高断熱住宅の普及や温室効果ガス削減アクションプログラム等を推進してきたほか、公共施設の脱炭素化にも取り組んできた。
- これらに加え、令和5年度（2023年度）に温室効果ガス削減目標を引き上げたこと等から、市民・事業者への支援を拡充するとともに、「脱炭素先行地域」において脱炭素モデルの創出に向けた取り組みも開始している。
- こうした取り組みにより、市域の温室効果ガス排出量は、着実に減少しており、その成果が一定程度表れているものと評価している。
- 温室効果ガス削減などの目標の確実な達成に向けては、再生可能エネルギーの普及拡大や省エネの徹底など、これまで以上に取り組みを加速させる必要がある。
- とりわけ高い削減目標を掲げる家庭・業務部門においては、建築物の屋根を活用した太陽光発電の導入や、住宅の断熱化、中小企業者の脱炭素化支援を一層推進していくことが重要である。

・管理指標

管理指標	令和2年度	令和5年度 (速報値)
市域のエネルギー消費量	134千TJ	128千TJ
市民1人当たりのエネルギー消費量	126GJ/人	120GJ/人
市民1人当たりの温室効果ガス排出量	6,762kg-CO ₂ /人	6,474kg-CO ₂ /人

・施策の進捗状況確認項目（緩和策）

施策体系	進捗状況確認項目	令和2年度	令和5年度
脱炭素型のまちの構造をつくる	みどりの総量（緑被率）	78.4% (令和元年度)	78.7% (令和6年度)
	建築敷地内での樹木植栽本数	52,596本	53,059本
	都市公園面積	16,493,290㎡	16,898,449㎡
	森林の間伐面積	68ha	22ha
脱炭素型のエネルギーシステムの構築を進める	家庭向け省エネ等支援制度利用件数	3,246件※	
	事業者向け省エネ等支援制度利用件数	40件※	
	住宅において一定の省エネルギー設備等を導入している件数	177,000件 (平成30年度)	203,000件

※令和3年度（2021年度）～令和5年度（2023年度）の累計

・施策の進捗状況確認項目（緩和策）

施策体系	進捗状況確認項目	令和2年度	令和5年度
環境にやさしい交通への転換を進める	地下鉄、バス利用者数	107,042,641人	135,949,812人
	コミュニティサイクル利用回数	64万回	107万回
	次世代自動車補助制度利用件数	41件※	
持続可能な資源循環都市を目指した取り組みを進める	ごみ総量	363,363t	342,301t
	1人1日当たりの家庭ごみ排出量	471g/人日	424g/人日
	家庭系食品ロス量	—	12,100t
	廃棄物分野における温室効果ガス排出量	11.9万t-CO ₂	11.0万t-CO ₂
脱炭素型のライフスタイル・ビジネススタイルを定着させ行動を促す	イベント・講座等参加者数	2,240人	14,243人
	環境配慮制度認定事業者数	148事業者	146事業者
地域経済と環境の好循環を生み出す	温室効果ガス削減アクションプログラム実績（削減量）	18.8万t-CO ₂	
	脱炭素経営への取り組み事業者数（アクションプログラム参加者数）	120者・120事業所	222者・633事業所
	分散型エネルギー創出・次世代エネルギー研究開発等取り組み件数	3件※	

※令和3年度（2021年度）～令和5年度（2023年度）の累計

・施策の進捗状況確認項目（適応策）

施策体系	進捗状況確認項目	令和2年度	令和5年度
気候変動が農業や自然環境に及ぼす影響を把握し適応する	農作物の高温対策や病害虫等に関する情報提供の実施回数	25回	21回
	生物多様性普及啓発イベント参加者数	160人	432人
自然災害による被害を最小限に抑える	雨水排水施設整備率	36%	37.3%
	雨水総流出抑制量	16,744m ³	4,176m ³
		6,289m ³ /h	1,715m ³ /h
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成数	810施設	871施設
健康に与える影響を把握し軽減する	イベント等における啓発実施回数	9回	20回
	気象警報等の発令回数	—	10回
事業活動・生活環境におけるリスクに備える	市街地のみどりの総量	30.2% (令和元年度)	29.9% (令和6年度)
	市街化区域内の民有地緑化面積	5.8ha	4.5ha
	打ち水等のイベント参加者数	—	91人
	気候変動適応の認識度	9% (令和元年度)	39% (令和6年度)